



スエードペイント VALRENNА 塗装説明書

施工動画

- 商品名 スエードペイント バルレンナ
水性アクリルエマルジョンペイント
- 素材 プラスターボード、CW ペーパー（テクスチャー用）、コンクリート、モルタル
- 荷姿 スエード専用ベース：2.5L、5L、12L/スエードペイント：2.5L、5L

工程	塗料名	塗装方法	塗り回数	塗装間隔 (時間以上)	塗面積と塗付量 (kg/m ²)	希釈率(%)
素地調整	被塗面に付着している汚れ、油成分、ゴミ、粉などの付着物を除去し乾燥した清浄な面にする。 穴埋めが必要な場合にはパテ・フィラーなどを用いて行う。					
下塗り	素地の材質・状態に適した、シーラー・プライマーを使用して下さい。(別途ご準備下さい)					
ステップ 1	スエード専用ベース (Primer1200)	ローラー塗り	1	約 4 時間(20℃)	約 8 m ² / 1L あたり	0~20%
ステップ 2	スエードペイント	ローラー塗り	1	指触乾燥約 1 時間 塗装間隔 2~4 時間	約 14 m ² / 1L あたり	—
ステップ 3	スエードペイント	ローラー塗り 刷毛塗り	1	指触乾燥約 1 時間 塗装間隔 2~4 時間	約 14 m ² / 1L あたり	—

(注) 被塗膜の形状、素地の状態、施工方法、施工条件により塗面積に幅を生じることがあります。

撥水加工、フッ素樹脂ラミネート、汚れ防止用、ペット用などの特殊加工クロスなどは、艶があり水性塗料を弾くためペイントできないものもあります。

サイズ | 標準塗装面積 | 塗装回数

- スエード専用ベース 2.5L (約 20 m²/1 回塗り)
- スエード専用ベース 5L (約 40 m²/1 回塗り)
- スエード専用ベース 12L (約 96 m²/1 回塗り)
- スエードペイント 2.5L (約 17.5 m²/2 回塗り)
- スエードペイント 5L (約 35 m²/2 回塗り)

※下地により異なります。

【塗装要領】

塗料準備

- ・スエード専用ベースを状況に応じて水で 0~20% 希釈すること。
- ・塗料の性質上、下に固まっている場合がある。出荷時に攪拌しておりますが使用時には再度底面から良くまぜること。

養生

- ・マスキングテープやマスキングを使い、塗らたくない所を覆う。

※塗装が終了しない場合でもその日のうちに一旦剥がす。

(翌日になると塗料がかたまり綺麗に剥がすことが出来ません)

株式会社カラーワークス
〒242-0001 神奈川県大和市つきみ野 1-1-40
TEL : 046-278-3029 FAX : 046-272-7200
www.COLORWORKS.CO.JP

下塗り (下地調整)

- ・素地の材質・状態に適したシーラー・プライマーを使用し吸い込みを止めること。(別途ご準備下さい)
- ・塗装面は平滑な状態にすること。

ステップ1

- ・スエード専用ベース (状況に応じて水で0%~20%希釈したもの) を中毛ローラーで不規則に一回塗る。

※一方向にならない様に角度と強さを変えながら平滑に塗って下さい。

※一方向に塗装した場合、塗継ぎ部分が出ることがあります。

※塗継ぎのところは色が濃く出ます。上塗りをして隠すことができません。

※滑らかな仕上がりにするため、ローラー目を立てない様に塗ってください。

ステップ2

- ・スエードペイントをローラーで全体に不規則な方向に塗り広げる。

ステップ3

- ・ステップ2のスエードペイント乾燥後、ステップ2と同様の塗り方でローラーで一回塗る。
- ・ローラー塗り直後、すぐに刷毛で柔らかいカーブを描く様にクロスしながら刷毛目を入れる。
(塗料をローラーで塗る人、刷毛で模様をつける人と2人以上で塗装することをお勧めします。)

※スエードペイントは非常に乾燥が早いです。

※乾いてしまうと、塗り継ぎ、入隅などのローラーの跡が残り易いです。ローラーで塗装後すぐに刷毛を入れ、一面を仕上げるようにして下さい。

※刷毛の強弱や刷毛を重ねる事で表情に深みが出ます。

※刷毛は毛足長め80~100mm、幅80~100mm(3~4インチ)程度のナイロン刷毛がおすすめです。

※塗り継ぎ、入隅は刷毛、ローラーで高さ強さを揃えず必ず不規則に塗って下さい。

※塗り方によって、仕上がりに違いが出る場合があります、試し塗りをお勧めします。

■ 塗装上の注意

1. 素地の乾燥を十分行ってください。(含水率10%以下、pH値9以下)
2. 取り扱い中は、塗料ができるだけ皮膚に触れないようにし、保護手袋・保護メガネなどを着用してください。
3. 気温、被塗物の温度が5℃以下、30℃以上、湿度85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
4. 密着が悪い場合など、必要に応じてプライマー等で素地調整を行ってください。
5. 高温(30℃以上)および低温(10℃以下)での塗料の保管は避けてください。
6. 塗装後24時間以内に、結露や塗装場所の急激な湿度変化がありますと、白化やシミが残ったり、塗膜が正常に形成されない場合があります。
7. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。
8. 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。
9. 塗装時及び塗料の取扱い時は、換気を十分に行ってください。
10. 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合、大型壁面塗装では補修部分が目立つことがありますので、同一塗料、同一塗装方法での補修をしてください。
11. 面の途中で塗装を一旦止めず、面は塗りきってください。